第四講・これが「週刊こどもニュース」だ（随筆(ずいひつ)）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一九九七年の夏、舞台(ぶたい)芸術家の妹尾河童(せのおかっぱ)さんの「少年Ｈ」をアニメ化し、「*こどもニュース」の夏休み特集で放送しました。これは、妹尾さんが子供(こども)だった太平洋戦争中の出来事を、自分を主人公に書いた小説です。

戦争中の出来事について、①出演者の子供たちに感想を言ってもらうことにして、アニメを見てもらい、放送前の打ち合わせで感想を求めました。すると、なんの感想も出てきません。実に何もないのです。何も言えません。「君はどう思うんだ」とみんなで問いつめたら、子供たちは泣き出してしまいました。今から考えると、とってもかわいそうなことをしたものです。でも、それまで出演者の子供たち、「君はどう思う？」と自分の頭で考えることをうながされたことがなかったんですね。

仕事で子供たちと付き合うことになって、一番感じていることは、今の子供たちが［　　］訓練を全く受けていないということです。学校では、教えられたことを、テストでどう〝再現〟するかという訓練は受けています。何が正解なのかもはっきりしています。しかし、これは②学校内だけのこと。実社会に出ると、何が正解なのかはっきりしないことが多いですし、そもそも正解なんかないこともあるのです。

自分の頭で考える訓練や習慣のない子供たちは、自分で判断しなければならない状況(じょうきょう)に直面すると、しりごみしてしまい、判断停止になってしまいます。

こんな子供たちがやがて大人になり、社会人になると、上から指示されたことだけをする〝③指示待

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ち族〟になり、上から言われた通りのことをするようになるのではないかと心配しています。上がもし判断をまちがえたら、みんなそろってまちがえてしまうからです。

〈池上（いけがみ）　彰（あきら）「これが『週刊こどもニュース』だ」より〉

＊こどもニュース＝ニュースや社会問題を、子供にも分かりやすく報道・解説する番組。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ――線①「出演者の子供たちに感想を言ってもらう」つもりでいた筆者ですが、実際にはどうなりましたか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　アニメを見た子供たち全員が同じような感想を持っていた。

イ　アニメの内容がむごいものだったから子供に見せられなかった。

ウ　アニメを見た子供たちは何の感想も持っていなかった。

エ　アニメの内容が難（むずか）しすぎて子供たちには理解できなかった。

(2) □に入るふさわしい言葉を文中から八字でぬき出しなさい。

(3) ――線②「学校内」とありますが、これと反対の意味で使われている言葉を、文中から三字でぬき出しなさい。

(4) ――線③「指示待ち族」とは、

あ　どんな人ですか。「……人」に続く形で、文中から十五字でぬき出しなさい。

人

い　なぜ問題なのですか。一文を文中からぬき出し、初めと終わりの三字を答えなさい。（、や。も一字にふくみます。）

初め

終わり

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

とつぜん「自分で判断しろ」と言われても、その訓練を受けずに大人になった人たちには、難しいことです。

自分たちの子供が、①そんな目にあわないようにするためにも、次の世代の子供たちに、日ごろから「自分の頭で考える」習慣を身につけてもらわなければなりません。

「こどもニュース」のうら話になりますが、「こどもニュース」の出演者の子供たちは、当初はニュースのことが全く分からず、ニュースについての意見、感想をスタッフや私が求めても、何も言えませんでした。たまに一人が少し感想を言うと、残りの子も「同じ」と言うだけでした。それを「さあ、見てどうだった」と問いつめて、自分の頭で考えさせてきました。こんなことをくり返しているうちに、この章の始めのエピソードのように、泣き出してしまうこともあったのです。

しかし、毎週毎週、「君はどう感じた？」「あなたはどう思ったの？」と自分で考えなければならないように仕向けていたら、そのうち、しっかり自分の考えを言えるようになったのです。それも、他人からの借り物の言葉ではなく、自分の言葉として言えるようになりました。

しかも、他の子が自分と同じようなことを先に言ってしまったら、自分は少しでもちがうことを言おうと努力するのです。②私は、うれしくなってしまいました。③この力は、きっと将来生きていく上で、おおいに役に立つはずです。

〈池上　彰「これが『週刊こどもニュース』だ」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ——線①「そんな目」とは、具体的にどんなことを指していますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

だれかに「□□□□□□□」

と言われたときに、

□□□□□□□□ことができずに困(こま)ること。

(2) ——線②「私は、うれしくなってしまいました」とありますが、筆者がこのように感じたのはなぜですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 子供たちが他人よりも先に意見を言ってしまおうと競い合っているから。

イ 子供たちがニュースで知った言葉を正確に表現することができたから。

ウ 子供たちがニュースのことがよくわかるエリートになることができたから。

エ 子供たちが他人とはちがう自分の考えを言おうとするようになったから。

□

(3) ——線③「この力」とは、具体的にどんな力ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

将来「□□□□□□□」と

言われたとき、□□を受けているので、

自分の頭で考えて□□□□□で

□□□□□を言えるようになったり、

□□□□□□□□□を

言おうと努力したりする力。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講・確認テスト

次の漢字の中で、総画数が他と異なるものを一つ選びなさい。

1　ア　陸　イ　術　ウ　率　エ　耕
2　ア　悪　イ　森　ウ　悲　エ　報
3　ア　駅　イ　歌　ウ　器　エ　静
4　ア　劇　イ　管　ウ　熟　エ　線
5　ア　運　イ　遊　ウ　貿　エ　眼

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　これが「週刊子どもニュース」だ（随筆）

一題目

(1) ウ
(2) 自分の頭で考える
(3) 実社会
(4) あ上から言われた通りのことをする（人）
（上から指示されたことだけをする）
い初め……上がも
終わり…です。

二題目

(1) 自分で判断しろ・自分の頭で考える
(2) エ
(3) 自分で判断しろ・訓練・自分の言葉・自分の考え・少しでもちがうこと

〈確認テストの解答〉

1 エ　2 ア　3 ウ　4 イ　5 エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。